

おふねだより

神奈川県立大船高等学校

校長通信

令和2年度第14号

校長 富樫 由里子

令和3年3月12日



暖かい日が続き、校庭の桜のつぼみが少しずつ膨らんでいます。3月9日に第36回卒業式を行い、388名の卒業生がこの学び舎を巣立っていきました。当日は朝から教室や廊下に3年生の元気な声が響き、朗らかな笑顔が校内にあふれました。感染防止対策のため、在校生は出席せず、保護者の方には会場の様子をインターネットを通じて画面でご覧いただく形を取らせていただきました。PTAからはお花のデコレーションと記念のお菓子が贈られました。卒業生のこれからの充実したものであることを心から願っています。



さて、東日本大震災発生から10年となる3月11日、学校では地震発生時刻である14時46分に黙禱を捧げました。個人的なことになりますが、10年前のあの夜、当時の勤務校で、停電のため暖房が不十分なか生徒と一緒に一夜を明かした保健室の床の冷たさは今も忘れられません。開校2年目で初めて行うはずだった合唱コンクールも、計画停電の影響を受けて会場が借りられなくなり、実行委員の生徒と話し合い、絶対にやりたい、体育館でやろうと決めて当日を迎え、どうか生徒が歌っている間だけは停電しないでと願った時間が昨日のことのようです。もう10年、まだ10年。様々な思いを皆さんそれぞれ抱いていることなのでしょう。昨年度は卒業生で防災士の資格を持つ今泉マユ子さんに防災講演会でお話をいただき、今年度は「目黒巻」というワークで防災について考えました。「知る」「気付く」ことで「行動が変わる」ことにつながっていくことを期待したいと思います。

先週で学年末試験を終えた1、2年生は、今年度のまとめを各教科や学年で進めるとともに、放課後は部活動に励んでいます。緊急事態宣言中のため活動は平日90分までに制限されていますが、グラウンドや体育館ではボールの弾む音や掛け声が、中庭では楽器の音や歌声が響き、わずかな時間を惜しむように集中して活動しています。新年度の新入生歓迎行事のための計画や練習も始まっています。残り少ない今年度ですが、少しでも学校の様子をお届けできればと思っています。

★欠席等の電話連絡は各学年をお願いします。

1 学年 0467-47-2374 2 学年 0467-47-2375 3 学年 0467-47-2376

★本校ホームページもご覧ください。 <https://www.pen-kanagawa.ed.jp/ofuna-h/>

